



全日本インラインスキー連盟
インライン復興支援プロジェクト
大船渡市スキースポーツ少年団インライン遠足

震災から7カ月が過ぎた、10月23日。NPO法人全日本インラインスキー連盟主催では、3回目となるインライン復興支援を大船渡市シーパル大船渡に於いて開催いたしました。日本、岩手県を代表するスキーマー竹鼻建氏と海野義範氏の声掛けにより、ローラーブレード、K2、HEAD インラインの協力のもと、被災した大船渡の少年少女にインラインスケートを体験していただきました。

今回で3回目ということもあり、自らインラインを履いて、一日中笑顔で会場を飛び回る姿には、我々スタッフが、元気をもらう一日となりました。そして、昼食には、岩手地元食材を提供いただき、新米の炊き込みご飯と「二子さといも」芋の子汁の炊き出しをさせていただきました。

今後も、子供たちの満面の笑みを継続できるように、明日への力となれるように、この活動を続けていきたいと思えます。冬季には、インラインから雪上への遠足活動へと移行していく予定です。

皆様には引き続きご協力をお願い申し上げ、ご報告とさせていただきます。



会場付近の警備をしている埼玉県警さんもいっしょに遊んでいただきました！



笑顔もいっぱい！お腹もいっぱい！の一日となりました。